

基調講演

組織運営と人材育成について ～臨床現場で培った 30 数年から～

一般社団法人 日本作業療法士協会

副会長 山本 伸一



2022 年 2 月 26 － 27 日、第 31 回四国作業療法学会が「広げたい輪 深めたい和 四国の“わ”～根源に還る～」のテーマのもとに開催されます。誠におめでとうございます。コロナ禍という苦境ではありますが、運営委員の皆様のご尽力ご努力によって盛大に催されますことを心よりお祝い申し上げます。

私は、作業療法士になって 30 数年経ちます。作業療法士になった当時は、「脳卒中麻痺側上肢に介入するのか？しないのか？」の論争が真っ最中でした。患者の訴えであるのにもかかわらず、患側上肢・手にはアプローチをしない。健側上肢で日常生活を自立するよう作業療法士は関わる。そのような手法、考えが多かったのは事実です。患者ファーストでここまで来ました。どうやったら患者支援が、患者治療が、対象者にとっても私にとっても満足がいくのか。その思いで長い月日が流れました。

このたび、「組織運営と人材育成」というテーマをいただきました。到底、私にはそのような内容で講演できるはずがありません。私は偉くもなく、そして運営に関する自信もありません。はたして引き受けるべきかどうか。正直、悩みました。

これまで、勤務先はひとつの場所。僕の年齢では珍しいかもしれません。昭和 62 年、山梨温泉病院（135 床）作業療法課 5 名（うち同期新人 3 名）からのスタートでした。作業療法士になって 4 年目で先輩や上司は退職し、教えてくれる人がいなくなったことで路頭に迷いました。しかし 2022 年 1 月現在、職場は作業療法士 34 名（理学療法士 55 名、言語聴覚士 6 名）の大所帯になっています。僕は、みんなが大好きです。自慢の職員です。また、山梨県作業療法士会や日本作業療法士協会、そしていくつかの研究会団体にも携わり、役職にも就かせていただきました。この期間、大切にしてきたことがあります。「人」です。どうやったら人を大切にできるのか、人は満足できるのか。このことは、自分ができているかどうかは抜きにして、ずっと頭にあることです。

大したことは言えません。失敗ばかりです。でも、それを含めてこれまでの経験を少しだけお話しできればいいなと考えています。

人を育てることは、自分を育てていること。

そう思います。当日は、どうぞ宜しくお願いいたします。

【略歴】

昭和 62 年 3 月 愛媛十全医療学院 作業療法学科 卒業

昭和 62 年 4 月 医療法人財団加納岩 山梨温泉病院（現山梨リハビリテーション病院）入職
現在に至る

【社会活動】 < 2022 年 1 月 1 日現在 >

一般社団法人 日本作業療法士協会 副会長

一般社団法人 山梨県作業療法士会 会長

一般社団法人 日本リハビリテーション病院施設協会 理事

一般社団法人 日本福祉用具供給協会 理事

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団 評議員

学校法人 健康科学大学 評議員

【研究会活動等】 < 2021 年 12 月 1 日現在 >

活動分析研究会 会長

CVA 時期別 OT 研究会 会長

日本ニューロリハビリテーション学会 評議員

ボバース国際インストラクター

【著書】

1) 山本伸一編集：中枢神経系疾患に対する作業療法

～具体的介入論から ADL・福祉用具・住環境への展開～ 三輪書店 2009

2) 山本伸一・伊藤克浩・高橋栄子・小菅久美子編集：

活動分析アプローチ第 2 版 青海社 2011

3) 山本伸一編集：疾患別 作業療法における上肢機能アプローチ 三輪書店 2012

4) 山本伸一編集：臨床 OT-ROM 治療

～運動解剖学の基本的理解から介入ポイント・実技・症例への展開 三輪書店 2015

5) 山本伸一監修：CVA × 臨床 OT

～「今」リハ効果を引き出す具体的実践ポイント～ CBR 2020